

令和5年度第1回草加市みんなでまちづくり会議

議 事 録

1 開催日時

令和5年7月26日(水) 午後6時～午後8時

2 開催場所

草加市役所本庁舎7階 7A・7B会議室

3 出席者

(1) 参加者 13人

(2) 進行 熊谷市市民活動センター センター長

立正大学・地域連携コーディネーター 生越 康治 氏

(3) 事務局 みんなでまちづくり課：藤倉課長、山岸課長補佐、田沼主査、水内主事

4 会議の議題

だれもが幸せなまちづくり ～若者とできること～

※ 全4回の第1回目

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴者数

0人

7 会議の主な内容

○ みんなでまちづくり会議について みんなでまちづくり課

みんなでまちづくり会議は、草加市みんなでまちづくり自治基本条例第26条の規定により、まちづくり登録員で構成する会議を開催し、まちづくり計画の提案についての議論により、市民参画を実現する場として開催しています。

みんなでまちづくり会議には、①市民同士の話し合いから、市民同士の交流・連携を促進すること、②市からの発信・情報共有により、市民活動の活性化を図ること、③市民の皆様から協働の提案をいただき、その提案について考えることの3つの機能を有しています。

みんなでまちづくり会議は、この3つの機能を通じた市民自治とパートナーシップによるまちづくりにより、市民参画を実現する場となっています。

続いて、近年のみんなでまちづくり会議の状況についてです。

令和4年度は、みんなでまちづくり会議 スピンオフ企画として、草加市における最上位計画である第四次総合振興計画第三期基本計画について、大学生を含む若者を対象に開催し、議論いただいたところです。

また、令和3年度からは、全4回のシリーズものとして、SDGs(持続可能な開発)の視点から考える 2030年

の草加市のまちづくりと題しまして、お話し合いただいたところです。コロナ禍における開催となり、2回の中止を挟みましたが、今年の2月に開催した前回みんなでまちづくり会議では、持続的な市民活動を続けていくために、若者のまちづくりへの参画が重要であるとの意見がございました。そこで、今回の会議では、若者の参画について、私たちに何ができるかを話し合う場として開催したいと思います。

続いて、草加市みんなでまちづくり会議自治基本条例についてです。草加市みんなでまちづくり自治基本条例は、草加市の最高規範として、「だれもが幸せなまち」を目指して、市民自治の実現とパートナーシップによるまちづくりを進めるため、資料のとおり、各原則を定めています。例えば、ふるさとまちづくり応援基金や市民活動センターなどのまちづくりの環境整備についてや、まちづくり登録員やみんなでまちづくり会議などのまちづくりの参画手続きについてです。

最後に、条例の検証についてです。草加市みんなでまちづくり自治基本条例では、パートナーシップによるまちづくりを保証するため、5年以内ごとの条例検証を定めています。前回行った市民検証委員会では、みんなでまちづくり会議運用に関して、分野ごとに市民からの意見を反映させる会議が増えた一方で、分野横断的な議論の場が少なく、市民の議論の場を整理した方が良いという意見や、市側からの働きかけとして、ファシリテーション体制を構築するなどの意見を頂いたところです。

以上、簡単ではありますが、みんなでまちづくり会議と草加市みんなでまちづくり自治基本条例についての説明とさせていただきます。

○ 本日の会議進行について 熊谷市市民活動センター センター長 生越 康治 氏

事務局から説明があったように、昨年度はコロナの影響もあり、断続的になってはしまいましたが、SDGsの視点から、2030年のまちづくりや日々の生活において、皆様が取り組んでいる地域活動を考えましょうというテーマでお話し合い頂きました。今後は、このみんなでまちづくり会議に、若い方々も、お招きしてお話し合いをするという企画・計画がありますので、それを前提に本日はお話し合いをしていただければと思います。本日は、その前段の会議として捉えていただければと思います。

今回、初めてみんなでまちづくり会議に参加した方もいらっしゃると思いますので、最初は、自己紹介的を兼ねて、今取り組んでいる、活動と併せてお話しいただければと思います。

○ 会議での共有事項

※①現在、取り組んでいること ②その中で若者と一緒にやりたいこと ③私が若者にできること ④多くの世代が参画できるためのアイデア

参加者1 : ①近所のゴミ拾い、地元のお店を活用し、地元の知り合いを増やす。

②ポイ捨てを減らす取組

④実施目的・意義を明確にする。案内を早くする

※みんなでまちづくり会議の在り方について意見あり

会議の目的、話し合った結果が見えづらい

- 参加者2 : ①会議所街づくり委員会、草加市東部工業会、NPO法人今様草加塾、お宝かるた、歴史と文化、草加経済クラブ、町会、花火、盆踊り、川柳地区、ドレミファそうかコンサート実行委員会、中学生とプロのコンサート、草加リトルリーグ
- ②産業、ものづくり、まつり
- ④祭り、飲み会、みんなでまちづくり祭
- 参加者3 : ①あいさつ、思いやり、おもてなし。人々から受けた恩を送りしよう。
- ②おじいさんとおばさんと共に子どもを育てる。救命講習など学ぼうよ。
- ④アマチュア無線、小型船舶、そば打ち、模型製作
- 参加者4 : ①子ども夏まつり、ふれあい小道に花植え、公園管理など
- ②若者に子どもの遊びや学習のリーダーになってもらいたい。
- ③うたごえ
- ④すでに様々な活動をしている人たちとの協力のできるイベントや地域の人たちとの協力のできる企画をする。
- 参加者5 : ①不登校・引きこもり相談支援。モラトリアム期から社会へ（就業・創造）。ミラトン・わくわく交流会
- ②ディスカッション、イベント、マルシェ、素敵な高齢者との交流。
- ③コミュニケーション
- ④広報を若者向けにする、ズーム会議、困っていること
- ※みんなでまちづくり会議の在り方について意見あり
- ・活動実績がないと参加しづらい・より早く会議開催の案内が欲しい
 - ・みんなでまちづくり会議内で皆様からアイデアをもらって活動を行いたい
- 参加者6 : ①獨協大学駅西側地域、にぎわい作り
- ②公園でのマルシェ
- ④自分たちの活動を発表できる場を提供する。
- 参加者7 : ①中高年のウォーキングイベント現在会員数266人。8年間で参加者7,500人。中高年の健康と生きがい
- ②現在は60歳～80歳が中心（草加市40%）で若くても45歳ほど。今後若い人達も含めて企画、活動を推進していきたい。
- ③自然の中での交流キャンプ。イルミネーションツアー、バーベキューなど。長距離で競うイベントなど。
- ④ウォーキングに対する若い人のニーズを探り、若い人と中高年が交流できるイベントを作り出す（子どもの参加費を無料や安くする）。
- 参加者8 : ①ウォーキングイベントの企画・運営。ポールウォーキングの技術指導
- ②ウォーキングを通じた高齢者との交流（コミュニケーション）
- ③イベント運営のノウハウ。高齢者向けイベントの具体的ケース

④車椅子ラリー、草加市内回遊、GPS利用お絵かき、親子・学生との交流。ボウリング大会

参加者9 : ①終のすみかづくり、終の街づくり

②様々な工夫を楽しみながら。(死)自分の先のこととして

④当事者(研究)課題を様々な世代で発表・共有→良い街づくりへ

参加者10 : ①地域の居場所

②一緒に活動できることをできるように

③生きること、暮らすこと

④遊びと遊ぶ

参加者11 : ①まちをにぎやかにするイベントの開催

②人々に情報を拡げること

③人生100年の時代の人と交わえることの喜びや価値を伝えたい。

④お互いに人のために役に立てることを見つけ合うこと

参加者12 : ①ごみひろい

②ディベート

③寄附目的のパーティ

参加者13 : ①外国籍市民の生活(定住)支援

②支援ボランティアとしての参加

④どうできるか

○ 会議まとめ 熊谷市市民活動センター センター長 生越 康治 氏

皆様のお話を聞いて、色々な活動や活動している人がいることを多くの方に知っていただければいけないと、改めて思いました。若い世代と一緒にやれることについてもお話しできましたが、またこの会議自体の在り方についてもお話できて良かったと思います。

皆様から頂いた意見をまとめて、次のみんなでまちづくり会議に活かしていきたいなと思います。